

KUH-S10

設置説明書

耐用荷重：最大40kg

特許番号 第352865号

このKUH-S10は、ソニーのデータプロジェクター
VPL-FH300L/FW300Lの天吊り専用ブラケットです。
プロジェクター及びスクリーンの設置距離につきましては各プロジェクターの設置
説明書を御参照下さい。

このたびはプロジェクター天吊りブラケットをお買いあげいただきまして、まことにありが
とうございました。お使いになる前に必ずこの「設置説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」
内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

安全上  ご注意



この取り付け説明書は、特約店様用に書かれたものです。お客様が取り付け説明書に記載された取り付け工事を行なうと事故などにより、死亡や大けがにつながる可能性があります。
お客様自身では、絶対に取り付け工事をしないでください。

天吊りブラケットにぶらさがったりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

設置状況に応じて、落下防止及び振れ止め等の安全対策を施してください。



安全に設置していただくために天井は少なくとも400Kgの荷重に耐えられるよう、必要に応じて補強を行ってください。

プロジェクタ - の取り付け及び取り外しの際に、市販の電動ウインチを使用することで、容易に着脱することが可能になり、高天井への工事時にも安全性が高まります。

御使用の場合、天井内高さが600mm以上必要となります。

また、取り付けにあたり天井内、スラブ等は十分な強度確保を行って下さい。(詳細はP9)

目 次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

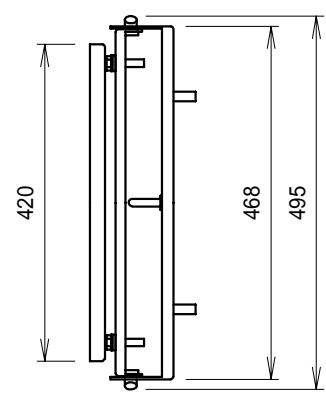
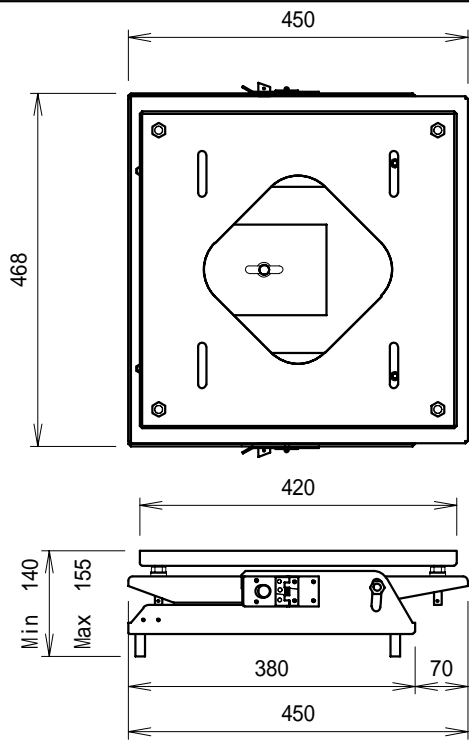
主要諸元 / 部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

取り付け方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ~ 6

天井への取り付け例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ~ 9

プロジェクタ - 装着時の寸法関係・・・・・・・・・・ 10

主要諸元



KUH-S10仕様	
主部材	SPCC 3.2 t
外寸	W (495) *D450*H140
調整寸法	水平回転角度 ±5度
	垂直回転角度 下10度上2度
	左右又は前後 ±25mm
	垂直移動 下方向+15mm
重量	約15kg(PJ除く)

部品表

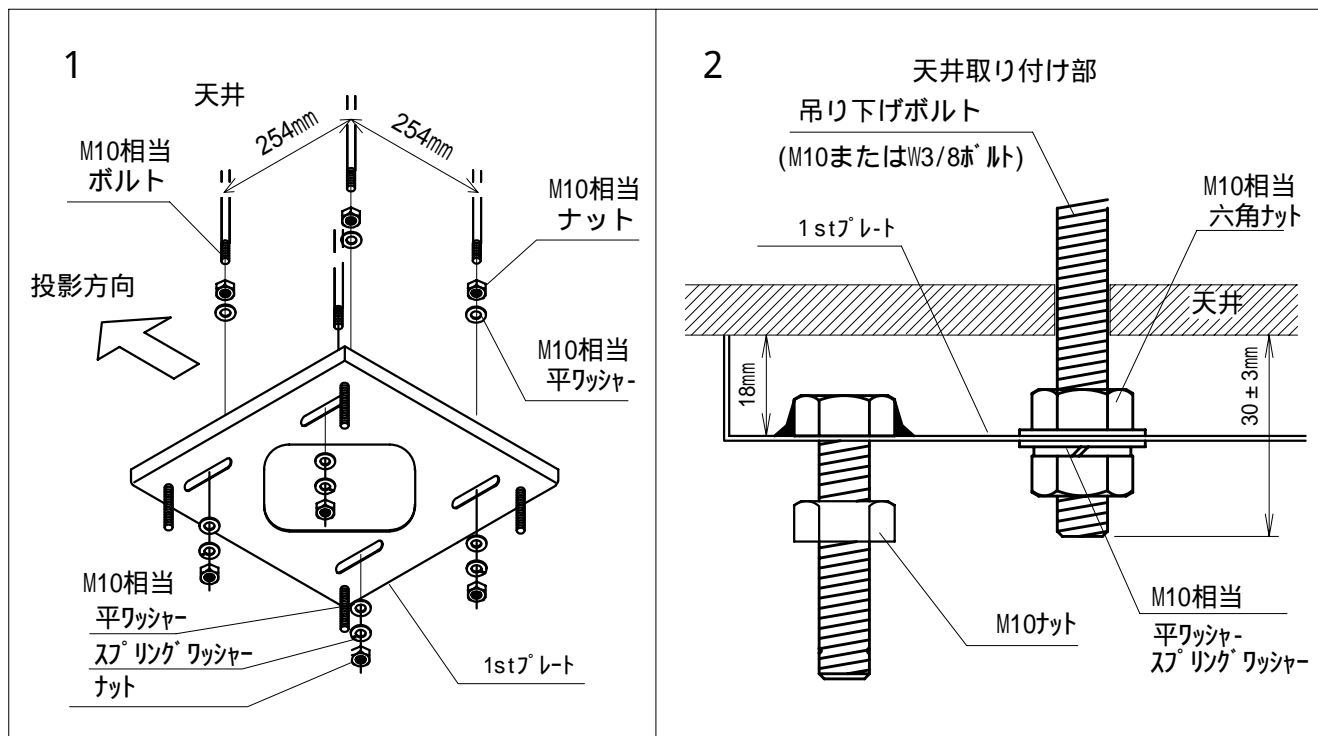
から までは組み立て済みです

名称	形状	数量		数量
1stプレート		1	六角ナット M10	8
			六角ボルト M10 L=20mm	2
			ワッシャー 10	10
2ndプレート		1	M4キャップスクリュー (SW・W) L=6mm	2
			L=8mm	2
			M4ダブルスナベネ L=6mm	2
			Rピン	大 2 小 4
			外歯ワッシャー M10	6
3rdプレート		1	M6ダブルスナ六角ネジ L=45mm	4
			M4トラスネジ L=5mm	4
			落下防止ワイヤ	2



天井吊り下げ用ボルトは付属されていないので、取り付け場所に合うものを御用意下さい。

取り付け方法



1stプレートと 2ndプレートが組み合った状態で、天井に取り付けることも可能です。
 その際は、2から4までの作業が省略できます。
 梱包時の完成品から、3rdプレートだけを取り外し、1stプレートと 2ndプレートを
 ばらさずに、そのまま天井へ装着して下さい。

3rdプレートを取り外すには、六角ボルト 外歯ワッシャー-ワッシャー- M4ダブルねじなべねじ Rピン大
 を取り外す必要があります。(詳細は7・8の作業工程を参考して下さい)



注意

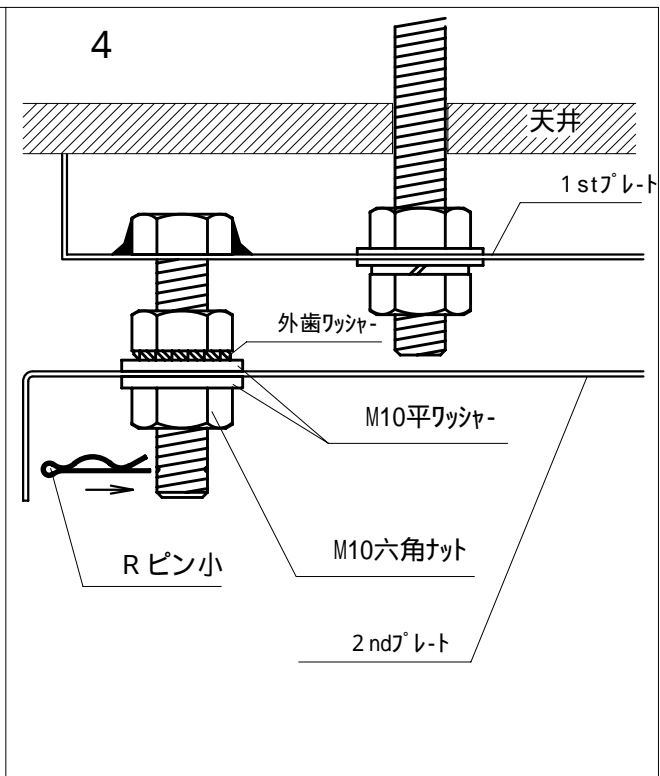
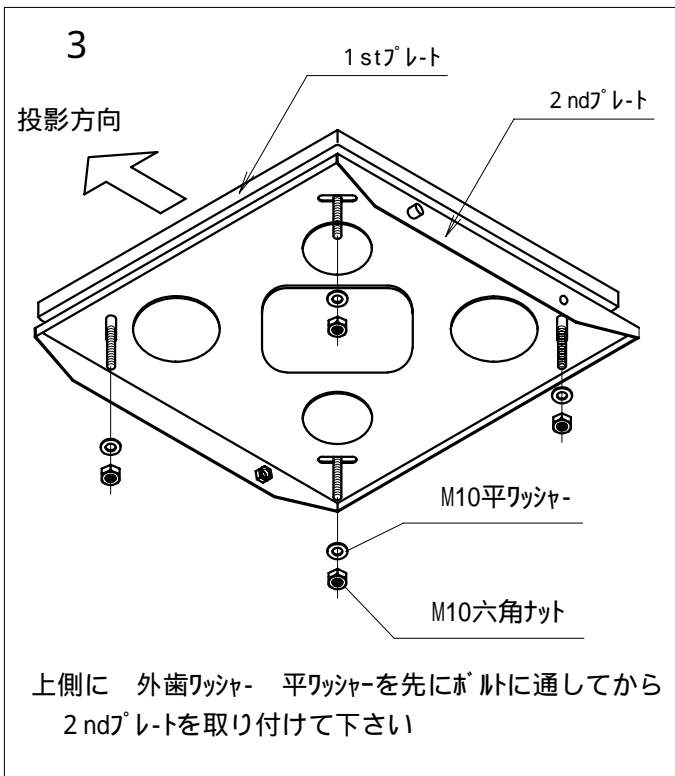
梱包時の完成品から、3rdプレートだけを取り外す際、M4キャップスクリューだけは、絶対に緩めたり、外すことがないようにご注意下さい。

- 1 十分に補強した天井に 1stプレートを取り付けます。
 このとき、スクリーンのセンターがプロジェクターのレンズのセンターと一致するように、
 吊り下げボルトを下ろしておいてください。
 ズレが生じた場合はプレートの長孔で±25mm調整が可能です。
 - * 吊り下げ用ボルトはM10またはW3/8サイズのものを使用して下さい。
 - * 天井より18mmの位置にナット下端がくるようにセットした後、マウントプレートを取付けてください。
 - * 吊り下げボルトの天井からの突き出しは28~33mmとして下さい。(天井-金具間を空けない場合)
 - * ナットは上下にかけてください。
 - * プレートを取り付ける前に上側ナットでレベルを合わせて下さい。
- 2 マウントプレートを固定したら、1stプレートから出ている4本のボルトに
 のM10ナットをかけておいて下さい。



注意

天吊りユニットを天井に取り付ける場合、天井に合わせてM10相当ボルト
 ナット、ワッシャーをご使用ください。M10相当以外のボルト、ナット
 ワッシャーで取り付けると落下する危険があります。



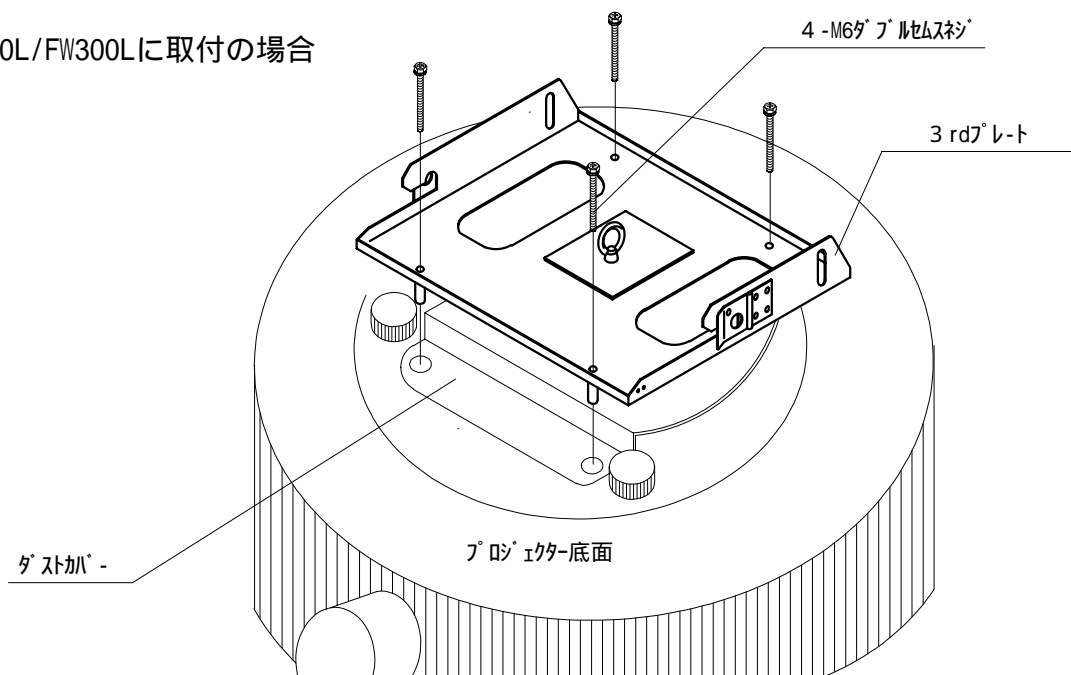
- 3 1で取り付けした 1stプレートより出ているボルトに、 2ndプレートを取り付けます。
2ndプレート上側に座金を必ず入れて下さい。
2ndプレートは、プレート中心から左右5° ずつ水平回転させることが可能ですが、
標準設置時は長穴のセンターにボルトがくるようにして下さい。
- 4 下側に を仮留めした後、ボルト下端の穴に Rピン(小)を差し込んでください。



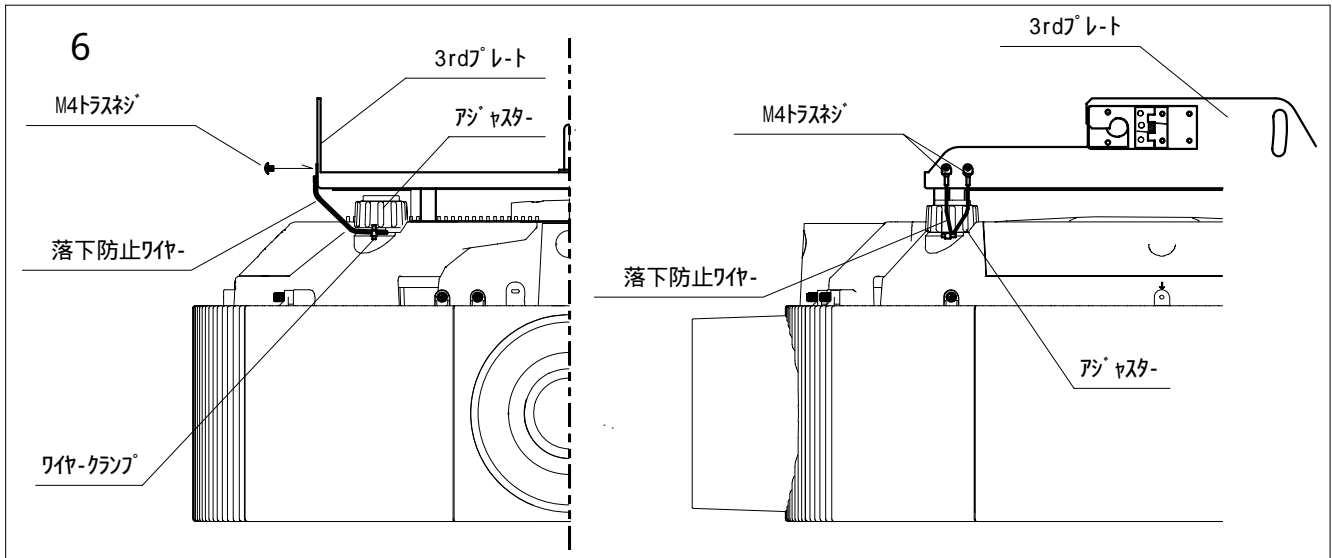
警告

Rピンは落下防止の為必ず使用して下さい。
ナットを穴位置より下まで下げると落下危険が生じますのでおやめ下さい。

5 VPL-FH300L/FW300Lに取付の場合



- 5 柔らかい布等の上にプロジェクターの底面を上側にして置き、ダストカバー-を共締めにして
M6ダブリングネジで 3rdプレートを取り付けて下さい。

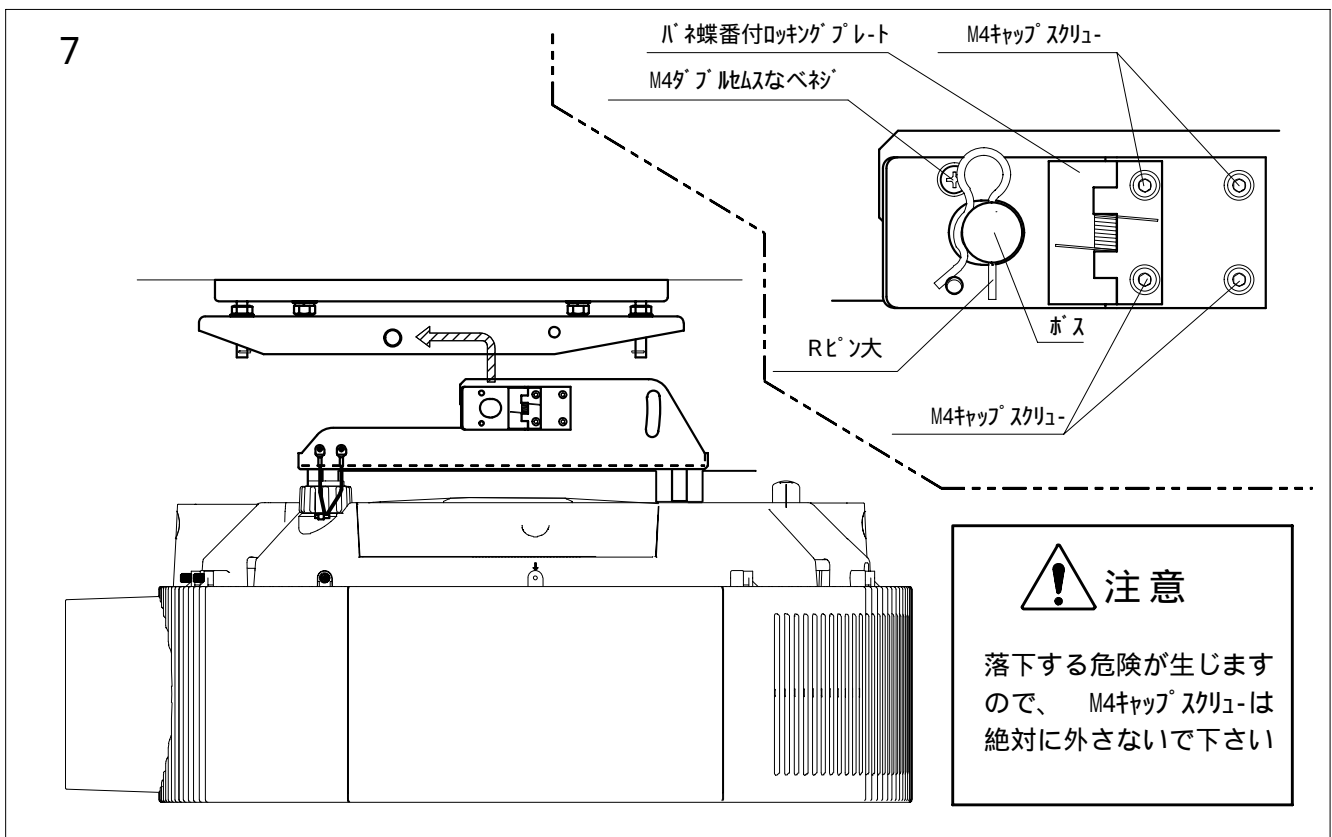


6 プロジェクタのアジャスタに 落下防止ワイヤ-を引っ掛け、ワイヤクランプで締め、 M4トラスネジ（各2本）で 3rdプレートに固定します。もう一方のアジャスタ-にも同様の方法で落下防止ワイヤ-を取り付けます。



注意

ワイヤクランプはアジャスタ-の根元までしっかりと締め付けて下さい。

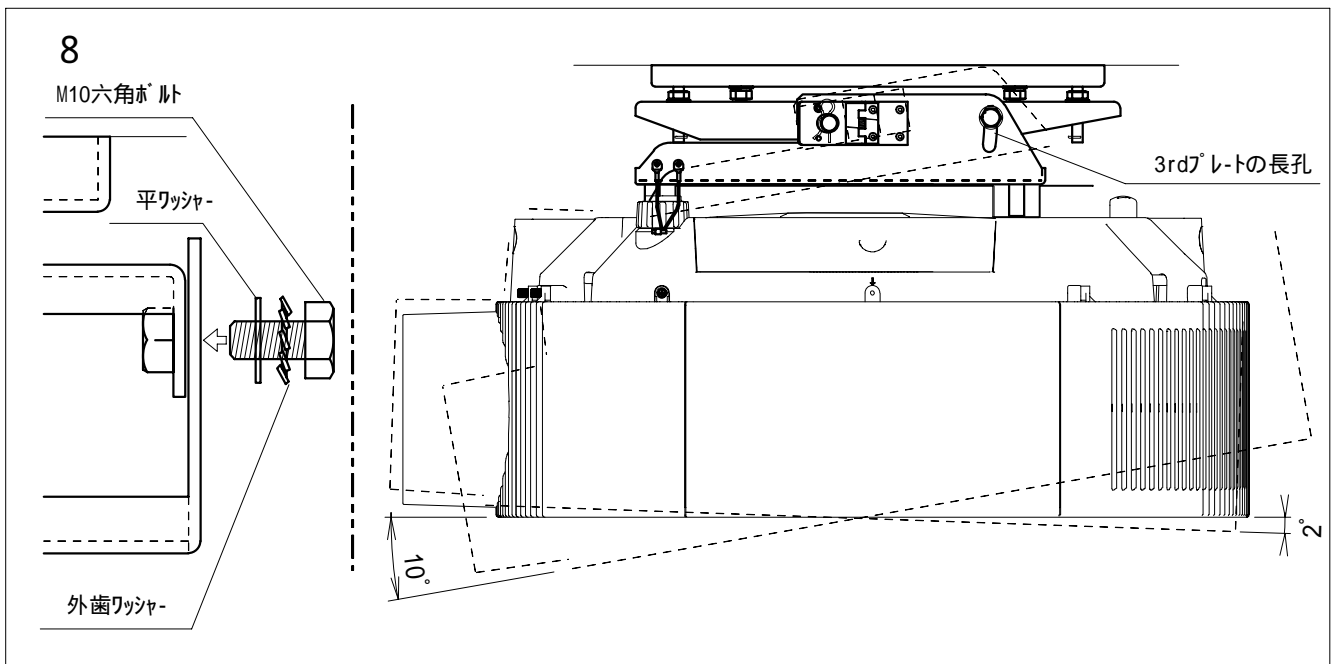


7 5・6で取り付けしたプロジェクタ-と 3rdプレート-を1～4で天井に取り付けた 2ndプレート-に上図のように矢印の方向に従って取り付けます。
3rdプレート-に左右両側へ M4ダブルナベネジ（計2本）でバネ蝶番付ロックプレート-を締め止めます。さらに、 Rピン大を突き出しているボスに差し込みます。

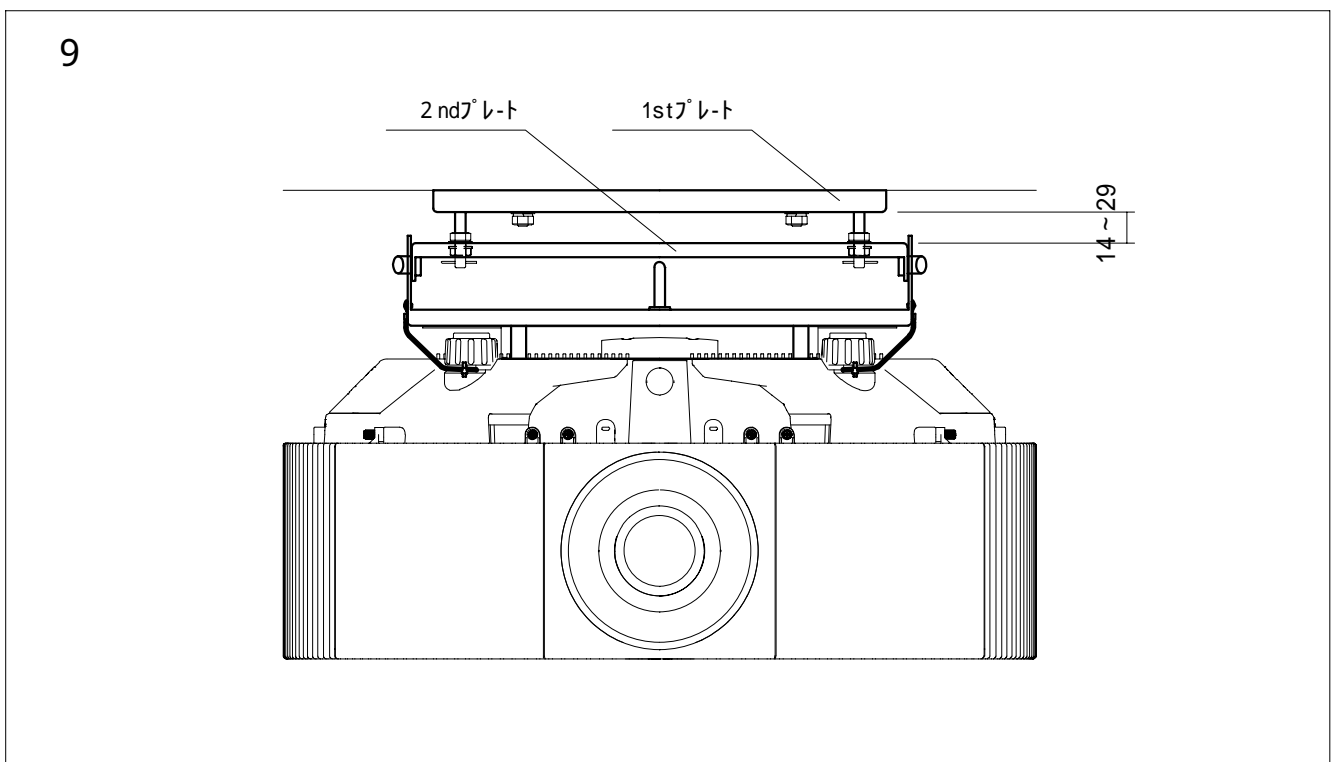


警告

落下の防止のため M4ダブルナベネジと Rピン大は必ず取り付けてください



- 8 プロジェクターの垂直方向角度を決め、M10六角ボルト 外歯ワッシャ- 平ワッシャ-を 3rdプレートの長孔にしっかりと固定します。
調整角度は下方10度上方2度です。



- 9 4で取り付けた M10六角ボルト 外歯ワッシャ- 平ワッシャ-を上下させることで、
プロジェクターの水平調整と、高さを上下 ± 15 mm調整できます。
1stプレートと 2ndプレートとの間隔はMin14mm、Max29mmです。



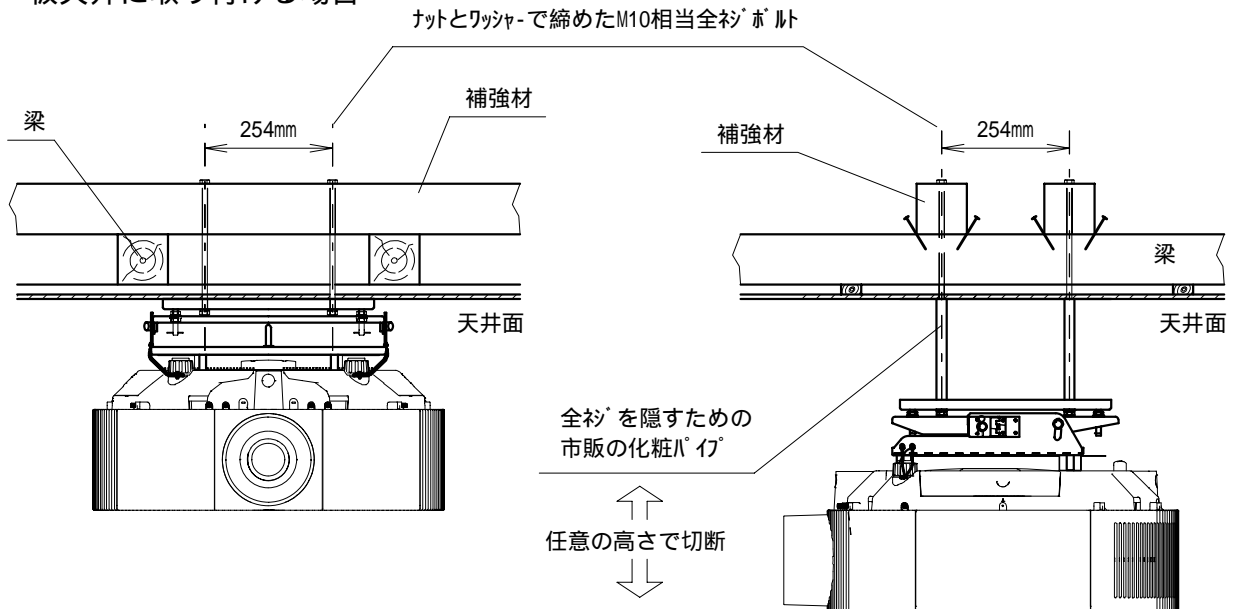
警告

各調整機構を調整後、それぞれのネジ、ボルト、ナットが確実に締まっている事を確認してください。

天井への取り付け例

サスペンションサポートを天井に取り付ける場合、天井内部の梁等が十分な強度を有することを確認してから作業を行って下さい。約400kgの荷重に耐えられる構造であることが設置条件となります。

・板天井に取り付ける場合

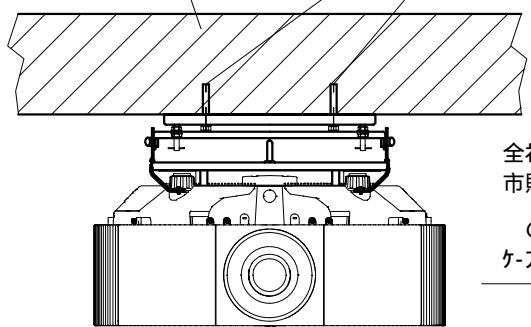


・コンクリート天井に取り付ける場合

コンクリートアンカー

ナットとワッシャーで締めたM10相当全ネジボルト

コンクリート天井



全ネジを隠すための市販の化粧パイプ

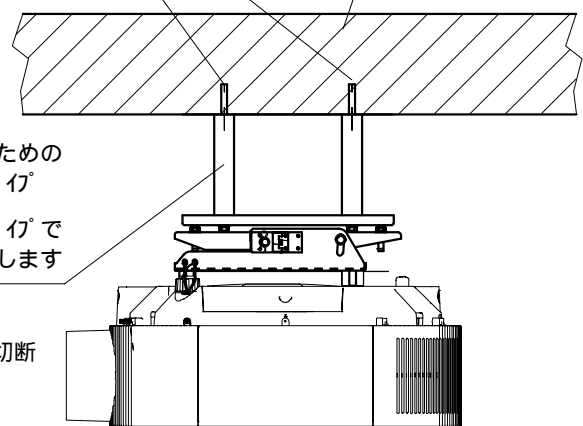
の大きいパイプでケーブル等を通します

任意の高さで切断

コンクリートアンカー

ナットとワッシャーで締めたM10相当全ネジボルト

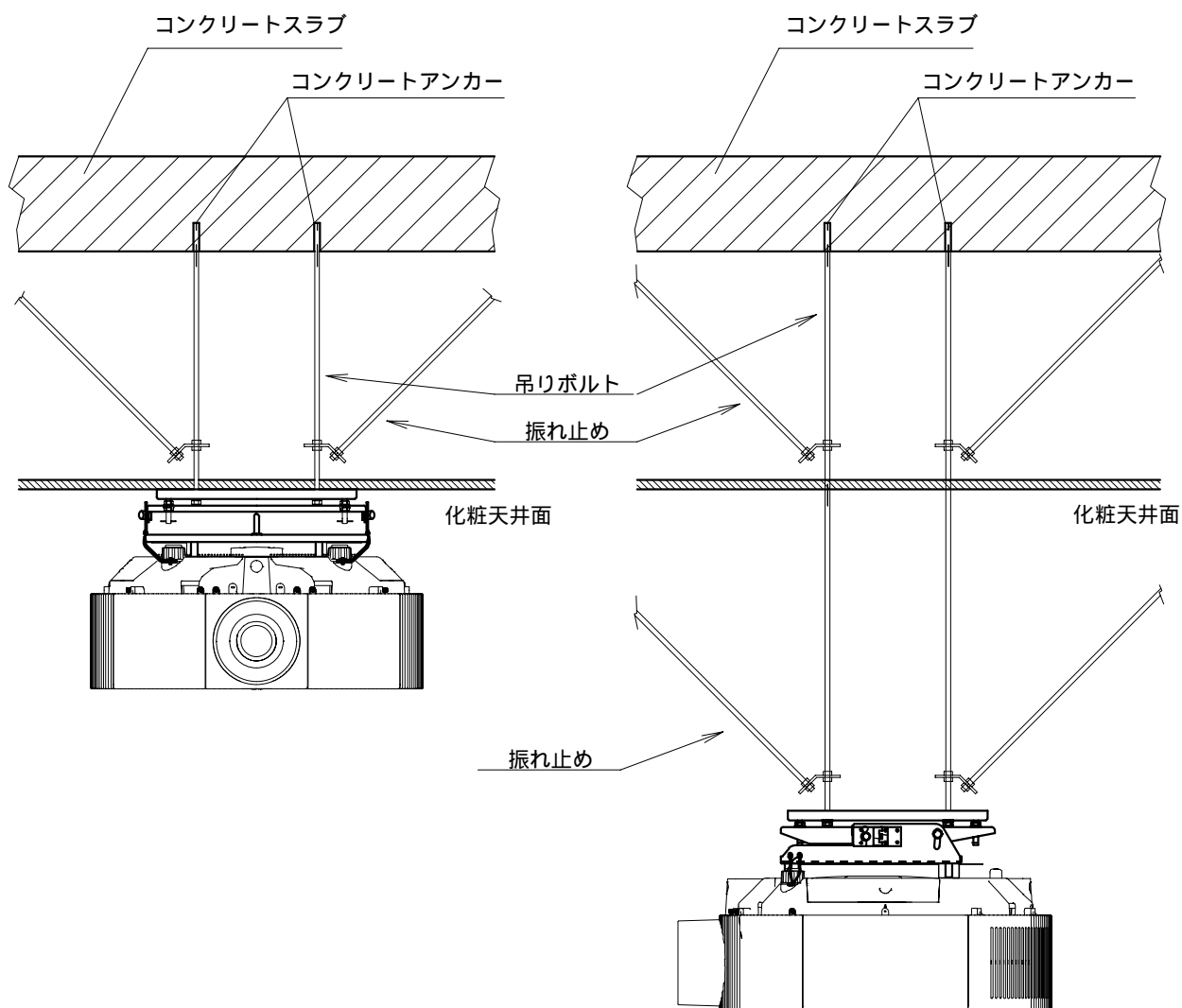
コンクリート天井



警告

設置工事前に天井の最大耐用荷重をお確かめ下さい。又、耐用荷重が充分であっても、直下を人が通るような場所ではワイヤー等で補強及び落下防止対策をとって下さい。

・天井内にコンクリートスラブが有る場合



- ・天井内にコンクリートスラブの有る場合は、スラブから吊りボルトを下ろしてプロジェクターを吊り下げることが出来ます。吊りボルトはM10または、3/8インチサイズのものを使用して下さい。スラブ天井間が離れている場合、必ず振れ止めをとって下さい。
- ・コンクリートアンカーは吊りボルトが垂直になるように打ち込んで下さい。



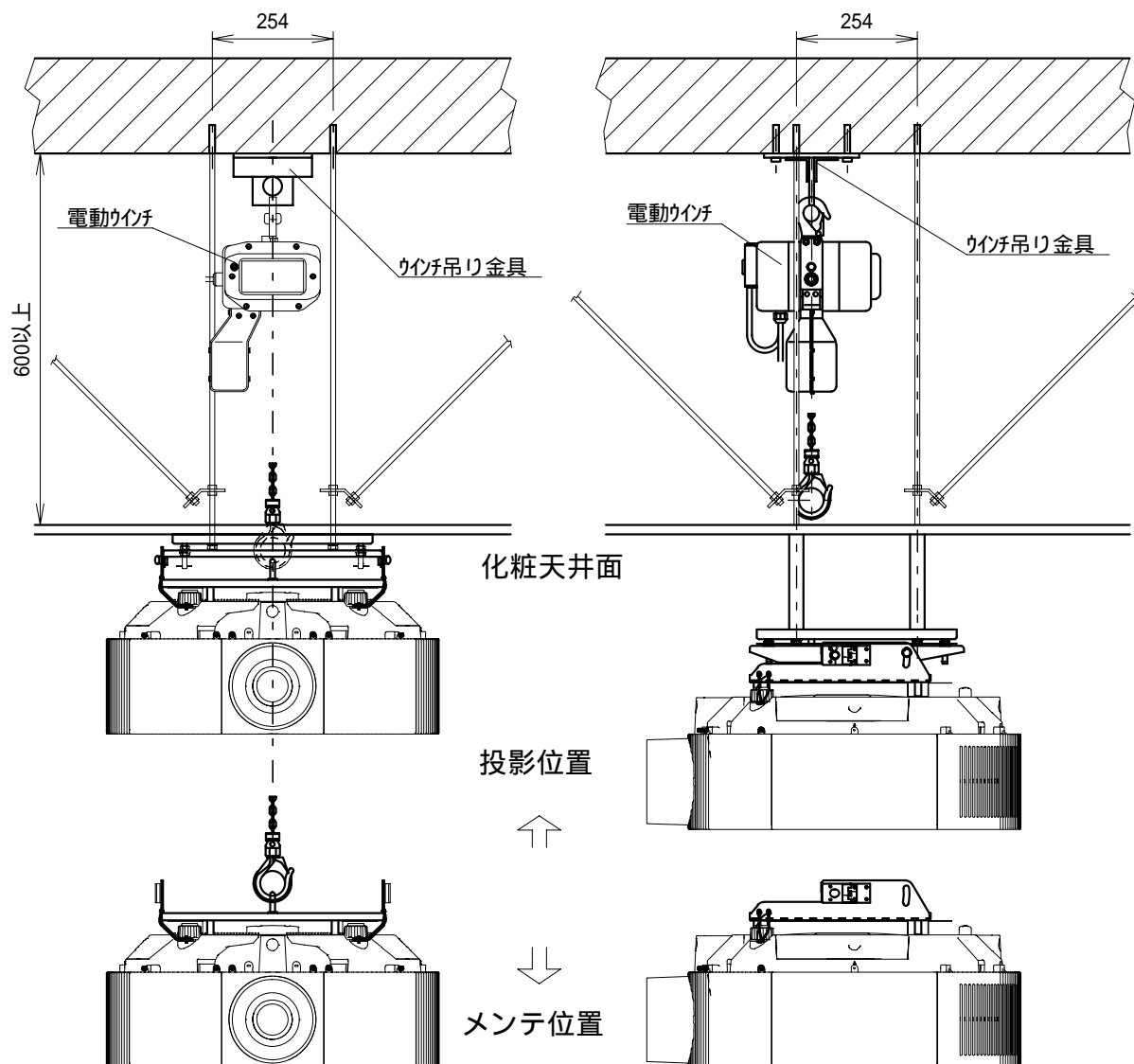
警告

コンクリートスラブにアンカーを打ち込む前にスラブ自体が荷重に耐え得る構造であることを確認して下さい。

天井スラブへのアンカーボルトの打ち込みにはケミカルアンカー等を使用して、十分な引き抜き荷重を得られている事を確認して下さい。

スラブ、天井間が広く空いている場合は振れ止めをとって下さい。吊りボルトのみですと、振動により天井面を傷める可能性があります。

・メンテナンス用電動ウインチユニットを使用する場合



- ・天井内面よりコンクリートスラブまで高さ600mm以上の空間が有る場合、市販の電動ウインチユニットが使用できます。
- ・お客様で用意していただく電動ウインチユニットは、天井内600mm以内で装着動作でき、定格荷重200kg以上の機種をお選び下さい。
- ・電動ウインチユニットを使用する場合、上部コンクリートスラブにウインチ吊り金具を取り付ける必要があります。
- ・ウインチはメンテナンス時の昇降の為に使用して下さい。ウインチのみで吊り下げた状態でプロジェクターを使用しないようにして下さい。
- ・ウインチのフックはウインチ吊り金具および 3rdプレート上部のリングに確実に引っかけて下さい。

プロジェクターの取り外し

- ・角度調整用M10ボルトを取り外して下さい。
- ・3rdプレートに装着されたロッキングプレートの 左右のRピン大を抜き取って下さい。(紛失に注意して下さい)
- ・左右 M4ダブね止めをを外して下さい。
- ・プロジェクターが落下しないよう保持しながら、ロッキングプレートを開いてプロジェクターを取り外して下さい。このとき、一旦上方に持ち上げてから後方にずらすようにすると、比較的簡単にはずれます。



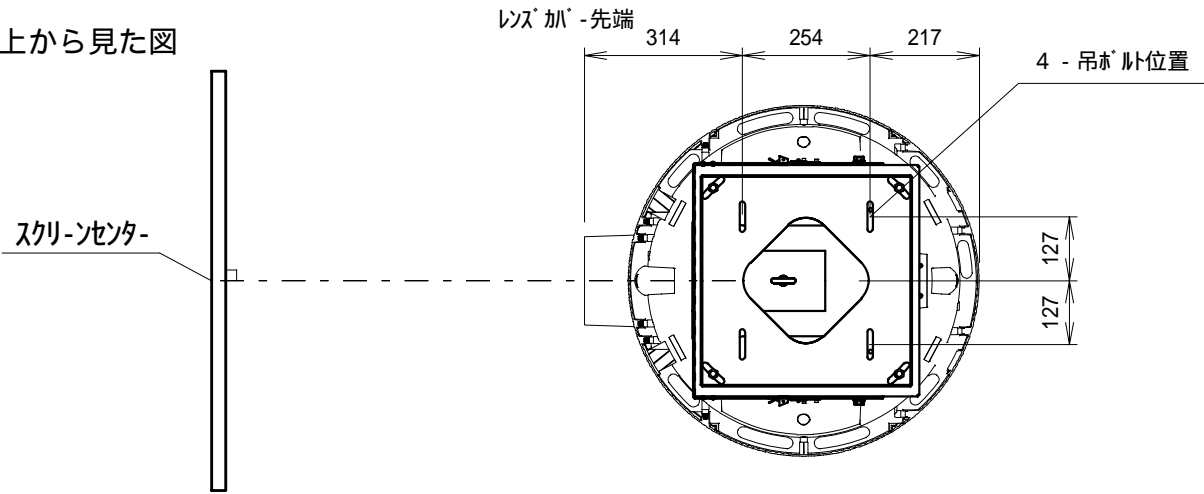
警告

取り外し作業時、プロジェクター下に人を配置しないようにして下さい。取り付けしたプロジェクターの重量を考えて、安全だと思われる人数で作業を行って下さい。ウインチ使用にあたってはウインチの説明書をよくお読みになって下さい。

プロジェクタ-装着時の寸法関係

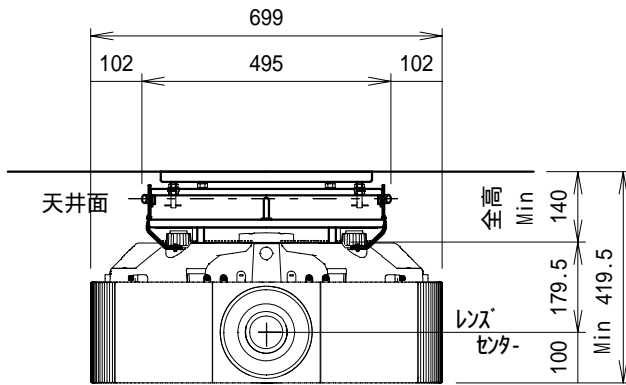
図はVPL-FH300L/FW300L

上から見た図



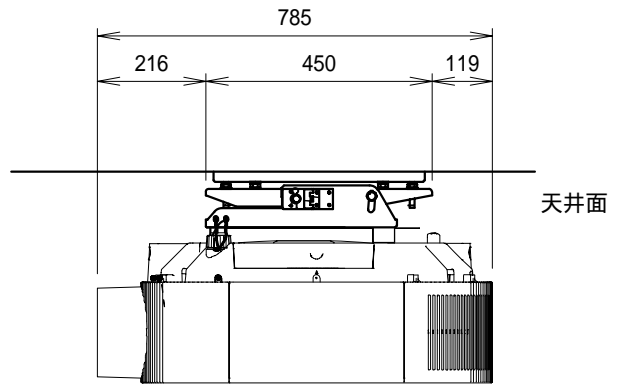
(単位mm)

前から見た図



(単位mm)

横から見た図



(単位mm)



KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

KUH-S10 2008.01 NW

株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131(代) FAX.(03)3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24

Y'sピアアクセス心斎橋7F

TEL.(06)6538-6070(代) FAX.(06)6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6

TEL.(048)422-3821(代) FAX.(048)422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>